

# 全長 1 キロの大きな大きな滑り台 無邪気な子供にしか見えない分か れ道が出現

全長 1 キロのバカでかい滑り台が、その街の中心部の大きな芝生の公園にある。

子供たちの純朴で無邪気な遊び場所となっている。

その滑り台にこのたび、一つの分かれ道が設けられた。

無邪気な子供の遊びという前提であるが、言わば恐怖のロシアンルーレットである。

滑り台の最後の方に、分かれ道が設けられる。

どっちへ滑っていくか、その方向性は風の向きやその時の体勢などの状態によって分からず、急角度の猛スピードで滑るためどっちへ行くかは自ら決めることが出来ない。

一つの終着点は、無限ループ そう立て看板がしてある。

もう一つの終着点は・・・・・・・・・・地獄行き

最後の終着点だけ、黄色いビニールシートが掛けられてゴールが何なのかが見えない。

これは太陽と雲が作り出した奇妙な自然界の分かれ道である。

「・・・・・・・・だよね」

友達と笑い合ったヒトシ。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました。